

2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月15日

上場会社名 株式会社ROXX 上場取引所 東
コード番号 241A URL https://roxx.co.jp
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 中嶋 汰朗
問合せ先責任者（役職名） 執行役員CAO（氏名） 高瀬 年樹（TEL） 03(6777) 7070
半期報告書提出予定日 2025年5月15日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年9月期中間期	1,980	—	△783	—	△799	—	△800	—
2024年9月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	△110.09	—
2024年9月期中間期	—	—

（注）1. 当社は、2024年9月期中間期については、中間期財務諸表を作成していないため、2024年9月期中間期の数値及び対前年中間期増減率並びに2025年9月期中間期の対前年同中間期増減率は記載しておりません。

2. 2025年9月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		％
2025年9月期中間期	2,633		103		3.9
2024年9月期	3,696		904		24.4

（参考）自己資本 2025年9月期中間期 102百万円 2024年9月期 902百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	0.00			
2025年9月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	5,235	50.6	△195	—	△232	—	△236	—	△32.46

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期中間期	7,273,170株	2024年9月期	7,273,170株
② 期末自己株式数	2025年9月期中間期	一株	2024年9月期	一株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年9月期中間期	7,273,170株	2024年9月期中間期	一株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載される業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績に関する説明	2
(2) 当四半期の財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により、企業収益や個人消費の持ち直しが見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、不安定な国際情勢や各国の金融政策による金利上昇等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社の主たる領域においては、引き続き慢性的な人材不足により高い有効求人倍率水準を維持しております。

このような状況のもと、当社は「時代の転換点を創る」をミッションに掲げ、ノンデスクワーカー向け転職プラットフォーム「Zキャリア」とオンライン完結型リファレンス/コンプライアンスチェックサービス「back check」を運営してまいりました。

当中間会計期間においては、「Zキャリア」のプラットフォーム拡大に向けた求職者集客、AIを活用したプロダクト開発の強化及び「back check」のコンプライアンスチェックプロセス自動化への投資を行ってまいりました。

その結果、当中間会計期間における「Zキャリア」の売上高は1,647,526千円、「back check」の売上高は332,590千円となりました。また、今期投資予定としていたマス広告の実施を含めた広告宣伝費の増加により営業損失となりました。

以上の結果、当中間会計期間における売上高は1,980,117千円、営業損失は783,419千円、経常損失は799,567千円、中間純損失は800,712千円となりました。

なお、当社はHR tech事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績の記載をしておりません。

(2) 当四半期の財政状態に関する説明

(財政状態)

(資産)

当中間会計期間末における総資産は2,633,781千円（前年度末比1,062,552千円の減少）となりました。

流動資産は2,369,447千円（前年度末比1,189,952千円の減少）となりました。これは主に、現金及び預金の減少1,104,390千円その他、マス広告をはじめとする販売管理費等に伴う前払費用の増加84,640千円によるものであります。

固定資産は264,334千円（前年度末比127,399千円の増加）となりました。これは主に、敷金及び保証金の増加125,942千円によるものであります。

(負債)

当中間会計期間末における負債は2,530,435千円（前年度末比261,840千円の減少）となりました。

流動負債は2,099,885千円（前年度末比262,457千円の増加）となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の増加301,526千円、未払金の増加77,572千円その他、未払消費税等の減少108,641千円によるものであります。

固定負債は430,550千円（前年度末比524,297千円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の減少524,297千円によるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産は103,346千円（前年度末比800,712千円の減少）となりました。これは主に、中間純損失による利益剰余金の減少800,712千円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末から1,104,390千円減少し、1,490,565千円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況と、その主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは729,023千円の支出となりました。これは主に、税引前中間純損失799,567千円、未払消費税等の増減額108,641千円による支出の他、取引増加に伴う売上債権の増減額184,233千円による収入等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは144,038千円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出13,131千円、敷金及び保証金の差入による支出133,681千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは231,328千円の支出となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出222,770千円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の業績予想につきましては、2024年11月13日に公表した数値から変更はありません。

今期は売上高で、約5,235百万円と前年比50.6%の増加を見込んでおり、高い売上成長が継続できると考えております。また、営業損失は約195百万円の赤字の見込みとなりまして、前年比で半減、営業損益率で約9.8ポイントの改善を見込んでおります。

現状、2025年9月期の業績予想に対しては達成進捗が前年比で遅れが生じております。しかしながら、足元の第3四半期以降についてはオペレーション領域における生産性の低下の底打ちや反転の兆しを確認できております。また、市場環境における大きな変化はないことに加え、RPO（Recruitment Process Outsourcing、採用代行）サービスによる一定のリカバリーを見込んでおります。

以上より、業績修正の可能性は否定できませんが、現時点においては通期業績予想は当初の計画から変更不要と考えております。

なお、これら取り組みの進捗や市場環境の変化等によって当社業績への影響が業績予想と大きく乖離し、業績予想の修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当中間会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,594,956	1,490,565
売掛金	520,112	334,361
営業未収入金	328,317	297,544
前渡金	20,642	57,400
前払費用	93,809	178,450
その他	6,867	18,140
貸倒引当金	△5,306	△7,015
流動資産合計	3,559,399	2,369,447
固定資産		
有形固定資産		
建物	15,679	15,679
工具、器具及び備品	59,855	72,209
減価償却累計額	△37,041	△45,669
有形固定資産合計	38,492	42,218
投資その他の資産		
投資有価証券	995	995
敷金及び保証金	93,665	219,608
長期前払費用	3,781	1,512
破産更生債権等	605	2,123
貸倒引当金	△605	△2,123
投資その他の資産合計	98,442	222,115
固定資産合計	136,935	264,334
資産合計	3,696,334	2,633,781

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当中間会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	585,920	584,145
1年内返済予定の長期借入金	602,537	904,063
未払金	300,970	378,542
未払法人税等	38,298	12,066
未払費用	91,668	85,296
契約負債	57,027	84,975
未払消費税等	108,641	—
返金負債	46,910	45,840
その他	5,453	4,955
流動負債合計	1,837,428	2,099,885
固定負債		
長期借入金	954,847	430,550
固定負債合計	954,847	430,550
負債合計	2,792,275	2,530,435
純資産の部		
株主資本		
資本金	644,443	644,443
資本剰余金	2,825,877	2,825,877
利益剰余金	△2,567,560	△3,368,272
株主資本合計	902,759	102,047
新株予約権	1,298	1,298
純資産合計	904,058	103,346
負債純資産合計	3,696,334	2,633,781

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)	
当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	
売上高	1,980,117
売上原価	386,531
売上総利益	1,593,586
販売費及び一般管理費	2,377,006
営業損失(△)	△783,419
営業外収益	
助成金収入	6,885
ポイント還元収入	1,423
その他	1,105
営業外収益合計	9,414
営業外費用	
支払利息	25,561
営業外費用合計	25,561
経常損失(△)	△799,567
税引前中間純損失(△)	△799,567
法人税、住民税及び事業税	1,145
法人税等合計	1,145
中間純損失(△)	△800,712

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前中間純損失(△)	△799,567
減価償却費	8,628
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,227
支払利息	25,561
助成金収入	△6,885
売上債権の増減額(△は増加)	184,233
前払費用の増減額(△は増加)	△84,640
前渡金の増減額(△は増加)	△36,758
営業未収入金の増減額(△は増加)	30,773
営業未払金の増減額(△は減少)	△1,774
未払金の増減額(△は減少)	86,907
契約負債の増減額(△は減少)	27,948
未払費用の増減額(△は減少)	△6,372
未払消費税等の増減額(△は減少)	△108,641
その他	△31,525
小計	△708,887
法人税等の支払額	△2,290
利息及び保証料の支払額	△25,819
助成金の受取額	6,885
その他	1,087
営業活動によるキャッシュ・フロー	△729,023
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△13,131
敷金及び保証金の差入による支出	△133,681
敷金及び保証金の回収による収入	2,775
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144,038
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△222,770
株式の発行による支出	△8,557
財務活動によるキャッシュ・フロー	△231,328
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,104,390
現金及び現金同等物の期首残高	2,594,956
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,490,565

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

改正された「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)、
「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)及び「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)を当中間会計期間の期首から適用しております。

なお、当該会計方針の変更による中間財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当中間会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

当社は、HR tech事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(多額な資金の借入)

当社は、2025年4月18日開催の取締役会において、事業の運転資金として株式会社静岡銀行と株式会社商工組合中央金庫からの資金の借入を決議いたしました。

また、当該決議に基づき、下記の通り資金の借入を実行いたしました。

借入先	株式会社静岡銀行
借入金額	300,000千円
借入実行日	2025年4月30日
借入期間	3年
借入金利	変動金利
担保の有無	無担保

借入先	株式会社商工組合中央金庫
借入金額	300,000千円
借入実行日	2025年5月2日
借入期間	3年
借入金利	変動金利
担保の有無	無担保